

子育てと両立する働き方改革事業【長野県飯綱町】

地域の実情と課題

飯綱町は若年女性の割合が7.6%と、全国・長野県よりも低い水準にある。町内での女性の雇用の場や、職業の選択肢が狭まり、結果として若年女性が町外に流出する傾向が増えている。こうした状況を打開するためにも「日本一女性が住みたくなる町」とすることを、まちづくりの重点目標の一つとしている。そのアプローチの一つとして、女性が安心して働ける創業・就労支援に取り組む。

目的・目標

小学校の統合により、廃校になった小学校が地方創生推進交付金を活用して、「しごとの創業・交流拠点」として生まれ変わる。スキルアップやプチ起業を目指す子育て中の女性達の研修機能等を併せ持ったワーキング事務所の機能構築を跡地利用の一つとして検討する。【H31年度2施設予定】

新しい働き方や自分らしい働き方に繋げる機会を作る。特に起業を目指す女性の支援として、自分らしい働き方を見出すイベント「ママフェスタ」を開催【H30年度1,609人来場】

事業の特徴

①働き方改革に関する検討会開催

・家族や地域の方に子育てと仕事の両立に理解を深めてもらうための検討や企画の提案(こども子育て応援会議)

・育児等により時間や場所の制約を受ける女性が継続就業しやすい環境作りの検討(ワークセンター利用者による意見交換会)

・ワークセンターPR動画の作成

②働く意欲のある女性の創業・就業応援

・起業を目指す女性支援として「ママフェスタ」を開催

・ワークセンターPR動画を作成(町の取組を広く周知)

連携団体

【iママフェスタへの参加】

・企業ブースとして出展(町内外:7社)

・東京証券取引所による講演

・だんごりの会(町内女性団体)によるワークショップ

・近隣市町村(信濃町等)イベント周知の協力

【長野県男女共同参画推進県民大会への参加】

・町の取組を発表

【千葉県流山市との交流】

・スキルアップセミナーの講師

事業の効果

既に機能しているワークセンター利用者との意見交換会を開催したことにより、現在の施設の使いやすさや改善すべき点など、多数の意見要望を得ることができた。今後、小学校の跡地にワークセンター機能の一部を取り入れる際に活用する。

iママフェスタでは、ママブース(子育てをしながらプチ起業している方)が24ブースあり、昨年を上回る1,609人が来場。地元のママさんや町内の女性団体などによるワークショップも多数あり、大盛況となった。家族での参加が多く、家族や地域で働く女性を応援し、女性たちが一歩前に踏み出せるきっかけづくりとなった。

今後の課題

PR動画を更に活用し、イベントなどで町の取組を周知し、ワークセンターの新規登録者を増やす。子育て中の女性等に働きやすい環境や場の提供をすることにより、「日本一女性が住みたくなる町」の目玉の1つとし、若年女性の割合を増やす。

事業の概要

働き方改革に関する検討会

【こども子育て応援会議】

家族や地域の方に子育てと仕事の両立に理解を深めてもらうために、ママフェスタへの男性の参加増や、地域の方と賑わいを作り上げるための検討・企画。



【意見交換会】

ワークセンター利用者による意見交換会を開催。育児等により時間や場所の制約を受ける女性が継続就業しやすい環境がつけられるよう検討。



【長野県男女共同参画推進県民大会】

子育てと両立している町内のママさんが自分らしい働き方について発表。町の取り組み等も町内外に広く周知。



働く意欲のある女性の創業・就業応援事業(1)

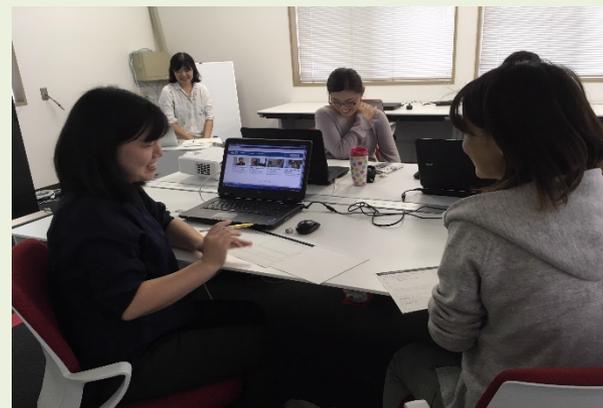
【ワークセンターPR動画作成】

町内のイベントや首都圏での移住相談会、YouTubeなどで紹介。



【千葉県流山市との交流】

千葉県流山市で活躍している女性団体の方を講師として招きスキルアップセミナーを開催。



働く意欲のある女性の創業・就業応援事業(2)

【iママフェスタ】

特技や趣味を活かして既に起業している女性から直接ノウハウを学ぶ場を提供。起業を目指す女性を支援。約1,600人来場。



来場者プレゼント
飯綱町PRキャラクター「みつどん」のうちわ



かわいい小物やアクセサリをはじめ、お菓子やドリンクなど、起業したママ達が24ブース出展。起業したママさんと来場者が直接触れ合える場所。



ママ向けの商品やサービスを提供する企業が7ブース出展。



町内女性団体(だんだりの会)『こねつけ体験』



町内のママたち『プラ版作り』



廃校地域の団体(赤東会)『魚のつかみどり』